

ひきこもりの事例から学ぶ研修会

(オンライン開催)

家族会のひきこもり事例から、
ひきこもり本人・家族への対応を学びます

家族会の事例をひきこもり支援の実践に活かす

2025 年 1 月、厚生労働省から「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～」(以下「ハンドブック」)が発行されました。

ひきこもり状態とは、さまざまな要因によって社会や地域、学校や職場からの退避を余儀なくされ、ひきこもることを選択せざるを得なかった状態像です。そういう苦しい状況にある本人に対し、ハンドブックでは、ひきこもりながらも生きている本人に寄添い、本人のあるがままを尊重し、本人と本人を支える家族の意向に適った伴走型の支援が掲げられています。ひきこもる本人・家族に肯定的な姿勢で関りながら、必要に応じて手を差し伸べること、また当事者を変えようとするのではなく、社会の側が環境の整備や調整を行う「社会モデル」としての支援が指針として示されています。

ひきこもりは状態像であり、支援を必要とする本人や家族の背景も、心情や葛藤も、個々で大きく異なります。また 8050 世帯、生活困窮世帯など、複合的な課題が密に絡み合うことも多く、一機関・一支援者だけでは支援しきれない現状もあります。

多機関・多職種が連携して一つのケースに関わる重層的支援体制の構築も、各自治体で検討されておりますが、ひきこもり支援では、公的機関のみならず、当事者団体や家族会といったインフォーマル組織との連携が欠かせないケースも少なくありません。

家族会につながることで、本人に変化が見られ、困りごとの解決に向けて動き出したり、親亡き後に当事者会が本人を支えたりするケースもあります。

その一方で、こういうインフォーマルな支援の必要性が十分に伝わっておらず、支援者がケースを抱え込まざるを得ないケースも少なくありません。

当会KHJは、当事者団体として四半世紀に渡って本人・家族に関わり、様々なインフォーマルの支援実践を展開・推進して参りました。本研修会では、家族会のインフォーマル支援の事例を多角的な視点から提供し、ひきこもり支援の一助となる学びの機会として開催いたします。

本研修会が、全国のひきこもり相談窓口や、支援現場、8050 世帯などへの福祉まるごと支援、居場所、地域の集いなど、さまざまな支援実践の一助となれば幸甚です。

※研修内容・日時の詳細は、次ページ以降をご参照ください

【研修科目①】

ひきこもりのピアサポートの実践

2026年8月23日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	ピアサポーターの実態調査を踏まえた、ピアサポート活動 ・令和7年度のひきこもりの実態調査を踏まえ、ひきこもりのピアサポート活動の有用性と諸課題について学びます。 講師：相川 章子 （人間学博士、精神保健福祉士） 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科 教授
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	ピアサポート活動の実際 ・ピアサポーターが居場所等で実践しているピアサポート活動について、相談の様子や居場所での関わり方を事例として学びます。 講師：大橋 伸和 （ピアサポーター） 特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク 「居場所よりどころ」ピアサポーター 「さっぽろひかり福祉会相談室あさかげ」ピアサポーター

【研修科目②】

家族会と行政との連携実践、親亡き後の対応

2026年9月20日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	行政のひきこもり担当所管と家族会の地域連携 ・行政のひきこもり担当所管と地域の家族会との相互交流、行政の相談窓口から家族会につながる事例について学びます。 講師：上田 理香 （公認心理師、家族支援士） 一般社団法人 SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク 代表理事 足立区ひきこもり家族会 顧問
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	親亡き後のマネープラン、本人の生活支援 ・親亡き後に本人に関わってくる遺産相続、住まい、生活費等のマネープラン等、専門職と連携して、本人を支える事例から学びます。また親亡き後の本人の生活支援について、多機関連携による支援について学びます。 登壇者：田口 ゆりえ (看護師) KHJ 埼玉けやきの会家族会 代表 / KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 監事

【研修科目③】

地域福祉活動としての家族会

2026年10月18日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	社会福祉協議会と連携する訪問活動、家族会・居場所実践 ・社会福祉協議会と連携する訪問活動の事例、家族会や居場所での相談と社会福祉協議会との連携事例について学びます。 講師：日花 睦子 KHJ 大阪虹の会 支部長 / KHJ全国ひきこもり家族会連合会 共同代表
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	当事者が行う地域福祉活動 ～本人・家族・地域をつなぐ実践から見えてきたこと～ ・地域におけるひきこもりの理解促進や勉強会の開催、毎月のサロン活動を通じてのひきこもり経験者ならではの地域活動を学びます。 講師：山川 豊揚（当事者・経験者） 春日市「Niente」代表

【研修科目④】

家族会の連携と支援実践、家族会の効果

2026年11月29日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	行政からの委託で実施する家族会の居場所運営 ・官民連携として、家族会が行政から委託を受けて運営する居場所について、委託の経過や家族会ならではの運営実践について学びます。 講師：加藤 和江（社会福祉士、精神保健福祉士） NPO 法人楽の会リーラ 副理事長
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	家族会に参加することで、家族や本人はどう変わるのか？ 家族会につながっていない家族への働きかけは？ ・家族会にどうつながるか、家族会につながった後で、家族や本人はどう変わるのか、KHJ 家族会支部の代表者間の鼎談を通じて学びます。 登壇者：大竹 信子 KHJ 横浜ばらの会 支部長 田中 義和 NPO 法人 なでしこの会 支部長 國吉 大介 KHJ 沖縄県ていんさぐぬ花の会 支部長

【研修科目⑤】

ひきこもりの困難ケースを事例から学ぶ 2026年12月20日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	ひきこもりのブラック支援の実態とその対応 ・未だにはびこる引き出し業者など、ひきこもりのブラック支援の実態と、その対応について、ジャーナリストの取材活動から学びます。 講師：池上 正樹 (河出新書「ルポ 8050」著者) 一般社団法人 SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク 代表理事 ジャーナリスト 高橋 淳 (角川新書「ブラック支援～狙われるひきこもり」著者) 朝日新聞 宇都宮支局 ジャーナリスト
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	困難ケース：多職種・多機関連携のソーシャルワーク実践 ・本人の障害や特性、親亡き後の本人をどう支えるか、KHJのソーシャルワーク支援実践事例から、多機関・多職種連携の支援を学びます。 講師：深谷 守貞 (社会福祉士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー

【研修科目⑥】

本人・家族への理解を促す地域活動実践と支援者の自己覚知 2027年1月17日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	ひきこもりサポーター制度の実践、重層的支援体制の整備 ・ひきこもりの住民理解を促すひきこもりサポーター制度の実践と、地域住民と支援機関が一体となって本人・家族を支える地域活動について、総社市の実践から学びます。 講師：中井 俊雄 (認定社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師) ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	事例に基づく自己覚知を通じての支援の捉え方の変化 ・8050 ケースを通じて、自己覚知からの支援に対する意識の変化と、本人や家族の捉え方の変化について、「医療モデル」から「社会モデル」への変化が支援にどのように影響していったか、学びます。 登壇者：矢田 初恵 (社会福祉士、精神保健福祉士) KHJ 岡山きびの会 / KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 理事

【研修科目⑦】

本人・家族への心理支援、支援者の気づきを促す援助技術

2027年2月20日（土）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10 (質疑応答 10 分含む)	本人・家族への心理支援の実践とエンパワメントの事例 ・苦しみの渦中にある本人や疲弊する家族への心理支援とエンパワメントについて、事例を通じて学びます。 講師：野中 俊介 （臨床心理士・公認心理師） 武蔵野大学 人間科学部 人間科学科 准教授
2	11:20～13:00 (質疑応答 10 分含む)	ケースの振り返りから気づきに至るプロセスレコードの実践 ・ひきこもりケースのスーパービジョンが困難な支援者に向けて、支援実践場面、特に関係づくりにおいて気になった場面を振り返り、かわり方の理解を学びます。 講師：斎藤 まさ子 （精神看護学） 長岡崇徳大学 客員教授

※各科目の最後には10分間の質疑応答と10分間の休憩時間を設けます。

【2026年度 研修会の研修科目】

- ① 8月23日（日）ひきこもりのピアサポートの実践
- ② 9月20日（日）家族会と行政との連携実践、親亡き後の対応
- ③ 10月18日（日）地域福祉活動としての家族会
- ④ 11月29日（日）家族会の連携と支援実践、家族会の効果
- ⑤ 12月20日（日）ひきこもりの困難ケースを事例から学ぶ
- ⑥ 1月17日（日）本人・家族への理解を促す地域活動実践と支援者の自己覚知
- ⑦ 2月20日（土）本人・家族への心理支援、支援者の気づきを促す援助技術

※ 研修会当日は9時25分からのオリエンテーションを始めます。
 講義・講話は、毎回9時30分からの開始になります。

※ 最終の研修科目⑦のみ、土曜日の開催になります。

【参加対象】

ひきこもりの支援活動に携わり、実際にひきこもりのケースを有している方
ひきこもりへの理解や支援に関心のある方

【参加費】

※研修会は個人でのお申込みになります。

事業者で複数名参加の場合でも、各々個人でお申込みいただけますようお願い申し上げます。

※動画編集などの諸経費の高騰を鑑みて、オンデマンド配信については、
昨年度の参加視聴費から値上げをしております。予めご了承ください。

●開催日当日のオンライン参加: 開催日ごとに、おひとり5,500円(税込)

●開催後のオンデマンド配信希望: 開催日ごとに、おひとり6,600円(税込)

●当日参加とオンデマンド配信の両方を希望: 開催日ごとに、おひとり10,000円(税込)

●全7回の講座を一括申込の場合は、当日参加とオンデマンド配信の両方に参加できます。
また、右記の割引価格でご参加・ご視聴できます。36,000円(税込)

※オンデマンド配信期間は、概ね3週間を予定しています。

※配信開始は、研修会開催後から約20日後を予定しています。

適格請求書発行事業者登録番号：T5030005002918

【お申込みの手順と研修の参加方法】

参加をご希望の際は、下記の(1)～(6)の項目をご記入のうえ、必ず「メール」でお申し込みください。

- (1) お名前(ふりがな) (2) ご所属 (3) 郵便番号・住所
(4) 電話番号(研修当日に連絡のつく番号) (5) 研修に参加される方のメールアドレス

※一つの事業所で複数名の参加を希望される場合でも、各々個人のお名前とメールアドレス、電話番号をご記入の上、お申し込みください。(研修会は個人でのお申し込みになります)

- (6) 希望する研修科目の番号、及び、当日参加かオンデマンド配信希望か、両方希望か。
(前ページの掲載①～⑦の研修科目の中で、参加をご希望する研修科目の番号と当日参加かオンデマンド配信かの参加形式をお書きください)

※複数科目の参加の場合は、まとめて参加費のお振込みをお願いしております。

※締切前であれば、後から、追加のお申し込みも可能です。

※開催週の(火)を過ぎてのキャンセルの場合、原則、返金はできませんのでご了承ください。

- (7) 請求書や領収書の有無 (必要な場合は、宛名と但し書きをご記入ください)

【お申し込み・お問い合わせのアドレス】 (lecture は「レクチャー」の綴りです)

lecture@khj-h.com 「KHJ ひきこもり支援者研修会」係

※メールにて「参加費振込案内」をご返信いたします。

【申込締切】 各研修会開催日の 5 日前の火曜日まで(最終回⑦は月曜日まで)に
メールでのお申込みと、下記口座まで振込みをお願いします。

【振込先】※申込と同時の振込が難しい場合は、その旨、メール内に振込予定日をお書き添えください。

ゆうちょ銀行 総合:10150-48439951 他行から(普通:〇一八店 4843995)

特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家

トクヒ)ケイエチジェイゼンコクヒキコモリカゾクカイレ

※法人名が長いので途中で切れておりますが、この名義になります。

- お申込みされた方には研修会前週の金曜日を目途に、「研修テキスト」のダウンロード先、及び「参加される Zoom アドレス」の ID とパスワードをお申込み時のメールアドレス(参加申込者)にお送りします。
- 事前にテキストをダウンロードの上、研修にご参加ください。
- 参加者自身の PC 環境の不具合などによる接続の不具合、画像の乱れ、また不具合による研修不参加については、当会では対応できかねます。お手持ちの端末の Wi-fi 環境などは十分にご留意ください。予めご了承ください。
- 個人情報適切に管理し、研修事業のみに使用いたします。

【お申込み・お問い合わせ】

特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301

E-mail: lecture@khj-h.com <https://www.khj-h.com>